

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立倉吉東高等学校

重点項目	ICT 活用教育	提出日	令和 3年 2月 10日
------	----------	-----	--------------

1 学校目標
「倉吉東高のかたち」の理想に沿った様々な教育活動を充実発展させるとともに、主体的な学習者・21世紀の日本を支え、世界をリードする高い志を持った人材の育成をめざす。
2 重点項目に係る目標
生徒のスマートフォン等を活用した BYOD(Bring Your Own Device 生徒所有のPC、タブレット等を授業等で用いること)を実践してきたが、画面が小さくキーボードがないという問題や、機種に依存した障害が発生すると対応が困難な面があった。そのため令和3年度入学生より BYAD (Bring Your Assigned Device 学校が推奨機種を指定し購入を斡旋するもの)に切り替え、Chromebook による一人一台を導入する。継続して、クラウドサービスである G Suite For Education、スタディアプリを使用し、学校と家庭でシームレスな ICT を活用した学びを推進する。
<数値目標>
①タブレット型端末の活用状況調査における数値目標
(1) タブレット型端末を活用して授業を実施した教員数を90% (69%R2.9)
(2) 授業において、タブレット型端末を活用した授業を受けた生徒数を100%
②学習内容と関連する事柄をインターネットで調べることや、スタディアプリや G Suite For Education などのクラウドサービスを、80%以上の生徒がほぼ毎日使用して学習することを目指す。

(様式1)

<p>3 事業計画（事業名、事業概要）</p> <p>【高等学校課事業】</p> <p>■ICT活用推進事業（ICT支援員派遣事業）</p> <p>令和2年度では、ICT機器を活用した先進的な環境整備を図るため、モデル校に県内高校では初となるICT支援員の配置が行われた。令和3年度では、保護者負担による一人一台Chromebookの活用を推進するため、ICT支援員の勤務形態を県教委と協議しながら全校的な授業支援を行い、新学習指導要領の求める主体的・対話的で深い学びを推進する。</p> <p>【独自事業】</p> <p>■探究活動推進事業</p> <p>探究活動では、文献調査等の調査におけるインターネットや、発表資料作成や論文作成においてG Suite For Educationを活用している。複数で活動しているグループでは、情報の共有や資料の共同編集等においてクラウドサービスの使用を推進する。</p> <p>・Society5.0に対応する教育環境構築・活用モデル事業、学力向上推進事業</p> <p>全国規模の研究会や、県内外の先進校へ教職員を派遣し、「個別最適化」や「学びあい」、「主体的で対話的な深い学び」を実践しているICT活用事例の収集を行う。収集した事例を校内で共有、研究し、授業実践を通じて教職員の指導力向上を図る。</p>

※枚数任意